

おおせっからんど便り

2015年
夏 H27.9

ラムサール条約ワイズユースの理念に基づき 環境保全活動 普及啓発活動 環境保全型産業の支援をします



ドローンによる仏沼全景 北側看板から南方向を望む 水面は小川原湖

撮影 三戸

行事のお知らせ

月日（曜日）	集合時間と場所	内容
10月12日（月）	10:00 三沢市先人記念館 1F	セミナー / 外来生物の問題 ・仏沼のウシガエル駆除活動の紹介、ほか
11月21・22日	大崎市 蕪栗沼・化女沼	大崎市ラムサール10周年 ・宮城県のラムサール条約湿地10周年記念事業・こどもラムサール等視察します

NPO 新会員・御支援をお待ちしています

- 入会金 1,000円
- 会費 サポート会員 2,000円（年額） 正会員 5,000円（年額） 活動支援をお願いします。
- お申込み：（事務局まで）

〔MS&AD ホールディングス / ラムサールサポーターズのご紹介〕 <http://www.ms-ad-hd.com/ramsar/index.html>
 ～のち・つなげる・水辺から～ 今年度から青森ではラムサール湿地の仏沼をご支援くださるとの事です。
 心強い味方ができました。今後は関係を強化して、保全や啓発活動を展開していきたいと思ひます。

発行者：特定非営利活動法人おおせっからんど 事務局：〒039-2241 青森県八戸市市川町字桔梗野上19-137 麦沢方
 ホームページ：<http://www.oosekka.com/> E-mail：jimukyoku@oosekka.com

「ラムサール条約湿地登録10周年記念 仏沼シンポジウム」盛大に行われる



仏沼がラムサール条約に登録されて今年で10年になります。これを記念して、立教大学の上田恵介教授（日本鳥学会会長・日本野鳥の会副会長）と、演芸家で野鳥愛好家でもある四代目江戸家猫八氏をお招きした「仏沼シンポジウム」が、8月1日に三沢市国際交流教育センターで開催されました。当法人はシンポジウムの企画やポスター・写真パネル作製等で協力しました。会場入口のホールには、仏沼の春夏秋冬の大きな写真パネルやオオセッカをはじめとする素敵な野鳥の写真パネルが展示され、参加

者を出迎えました。受付では当法人会員の中居稔氏が軽やかなタッチで描いた仏沼の鳥達が缶バッジになってプレゼントされ、帽子やバッグにつけて楽しめると皆さんに大好評でした。三沢市長と市議会議長の祝辞の後、当法人が仏沼の歴史や野生生物を紹介し、参加の皆さんが仏沼に来ているような気持ちになった頃で基調講演に移りました。上田先生には、オオセッカの歴史的経緯や生態研究を紹介していただき、貴重な野生生物を育む仏沼の大切な役割と、それをどう未来に繋いでいくかを熱く語っていただきました。猫八さんには、動物の鳴きまねは録音の音声ではなく本物に直に学ぶことが一番大事であり、その本物が生きる地球環境を護っていくことが自分の芸の道に通ずると、環境保全の大切さを芸人の視点で語っていただきました。また、イヌヤニワトリの鳴きまねを披露していただき、仏沼でカンタンが鳴く姿を観察した思い出も語って下さいました。続くパネルディスカッションでは、人・自然教育研究所の川村正さんと、三沢市先人記念館の元の学芸員で現在は幅広い分野で活動されている小笠原彩子さんにもパネラーとして加わっていただき、「仏沼と三沢市の未来」について討論を進めました。仏沼を活用するアイデアが次々と提案され、当法人の活動の指針をいただけたように感じました。また、ここに集った一人一人が、仏沼を未来へ繋いでいく気持ちを持って行動することが大切であると、改めて実感した次第です。

翌日（8月2日）は午前10時から仏沼で観察会でした。前夜から激しい雷雨となり開催できるか心配で、先発隊は早朝5時から現地ですぐ鳥と天気の様子を見守っていました。嬉しいことに、参加者が道の駅みさわに集合した頃には空が明るくなり、仏沼に到着すると小降りとなって、三角池周辺を傘無しで散策できました。オオセッカやコジュリンは相変わらず盛んに囀り、足元には秋の七草のナデシコやオミナエシが咲き乱れ、仏沼の自然の醍醐味を充分感じていただけたと思います。観察会が終わる頃、雨のカーテンが南方から迫り、早足にバスに戻ると大粒の雨が降り出しました。天の心意気に感謝する観察会でした。このシンポジウムや観察会を期に、たくさんの方々が仏沼を身近に感じて、未来に残す志を共に持っていただけるよう、当法人は活動していきます。（津曲隆信）



2015年度オオセッカ一斉調査報告

仏沼では1982年よりオオセッカの個体数調査（一斉調査）が実施され、2003年からは当法人が主体となって、生息する全ての鳥類を数える生息鳥類個体数調査が毎年行われています。今年度は6月28日に実施する予定でしたが、前日からの大雨と強風のため調査延期となりました。60名近くの参加者が集まり、遠くは東京、埼玉、北海道、秋田からも来ていただいておりますが、当法人会員の宮彰男氏夫婦が準備して



くださった前夜の懇親会を楽しみ、当法人会員の久保益男氏・清子氏夫婦、三国孝氏・長瀬京子氏が準備してくださった恒例のカレーライス朝食を食べた後に解散となりました。準備に携わっていただいた皆様、遠方よりお集まりくださった皆様、ありがとうございました。再調査は、翌週末の7月4日・5日に当法人会員と北里大学自然界部の協力を得て実施しました。4日は小雨が時々降る曇り空でしたが、5日はようやく晴天に恵まれました。調査の結果、下記の3点が明らかとなりました。第1に、仏沼でオオセッカのオスが計445羽確認されました。昨年度（511羽）から大きく減少し、しかも仏沼の保全を進める上で1つの目安となるだろう500羽を下まわり、2001年（446羽）と同程度にまで落ち込みました。仏沼のオオセッカはこれまで個体数を順調に増やしてきましたが、過去最多だった2011年（690羽）以降4年連続で減少しています。オオセッカの将来に一抹の不安を感じざるをえない結果と言えます。第2に、最近の個体数減少が著しく、昨年は83羽しか確認されなかったコジュリンのオスは、計155羽が確認されて個体数が大きく回復しました。まだまだ安心できる個体数ではありませんが、増えたことは大変喜ばしく思います。第3に、仏沼の鳥類の中で最も絶滅が心配されているオオヨシゴイが数年ぶりに確認されました。現在、日本で定期的にオオヨシゴイが確認されるのは仏沼だけのようです。神出鬼没でどこに潜んでいるか全く分からない鳥ですので、生息が確認できただけでも大きな成果です。（高橋雅雄）

第9回 仏沼クリーン作戦

5月16日（土）小川原湖岸の水辺の広場で第9回仏沼クリーン作戦が行なわれました。参加団体はいつもの米海軍環境ボランティア、三沢高校ボランティア部、国交省高瀬川河川事務所のほかに、三井住友海上保険のラムサールサポーターズみなさんの参加も得て100人を越える人数で行いました。道の駅みさわの広場で開会式を行った後、水辺の広場に移動し、クリーン作戦を開始。暖かな日差しの中で和気あいあいのゴミ拾いとなりました。年を追うごとに落ちていくゴミは少なくなってきたので、このクリーン作戦が広場を利用する人達のマナーの向上にも役立っていることを



感じました。全員で記念写真を撮ってクリーン作戦を終了し、次は仏沼のバードウォッチングとなりました。人数が多いので2班に分かれて三角池周辺を散策し、オオセッカやコジュリンの鳴き声や飛翔する姿を楽しみました。なかには土手に顔を出しているワラビに夢中の家族もありました。当日には間に合いませんでしたが、クリーン作戦参加の記念に新作のオオセッカ缶バッジがプレゼントされました。（津曲隆信）

ドローン使用レポート

当法人では、仏沼でのウシガエル駆除に活用するために小型無人航空機(ドローン)を購入しました。DJI社のphantom3という製品で、4K動画が撮れるカメラが付いていて、その映像を見ながら操縦します。コントローラーにモニター画面は無いので、スマートフォンやタブレットにアプリをインストールして、コントローラーに接続して使います。各種設定もこのアプリで行います。詳しい説明書はインターネットからダウンロードするのですが、読んでもよく分からないことが多く、YouTubeの説明動画がとても役に立ちました。初めて飛ばす時はさすがに緊張しましたが、ただ単に飛ばすだけなら簡単で、誰でもすぐに要領が掴めると思います。離陸は自動で、離陸後は高さ1.2mですぐに静止します。また、飛行中はコントローラーのレバーを離せばその場で静止するので、墜落の危険はほとんどないようです。さらに、ゴーホーム操作をした時やバッテリーの残量が少なくなった時に、自動的に離陸した場所に戻ってくるのが一番素晴らしい機能です。動画は4Kではパソコンで再生できないので、少し画質を落として撮影していますが、かなりきれいです。写真も充分使える画質です。仏沼内部の立ち入りが困難な場所も、上空から簡単に撮影できるので、今後の環境調査等で大いに活用できると思います。実際に撮影する際には、バッテリーが15分ぐらいしかもたないので、撮影プランを立てて効率良く撮影する必要があります。(三戸貞夫)



なくなくなった時に、自動的に離陸した場所に戻ってくるのが一番素晴らしい機能です。動画は4Kではパソコンで再生できないので、少し画質を落として撮影していますが、かなりきれいです。写真も充分使える画質です。仏沼内部の立ち入りが困難な場所も、上空から簡単に撮影できるので、今後の環境調査等で大いに活用できると思います。実際に撮影する際には、バッテリーが15分ぐらいしかもたないので、撮影プランを立てて効率良く撮影する必要があります。(三戸貞夫)

第13期(平成27年度)通常総会が開催されました。

6月8日に参加15名で行われました。(正会員6名サポート6名)加えて書面表決者7名。H27年3月末の会員数は正会員15名サポート会員39名です。総会后に正会員は17名になりました。停滞ぎみなので、会員増加を呼びかけます。**【内容】**H26年度事業の報告・会計報告・監査報告・H27年度事業計画・予算案等について審議がされ承認されました。(ホームページに総会資料)H26年度は、年報4号の発行。受託事業は、米軍環境調査業務・環境省国指定鳥獣保護区更新に係る調査業務がありました。今年度はラムサール登録10周年にあたるので、三沢市と協力してシンポジウムを行うことになりました。東北地方環境事務所より、ウシガエル駆除の受託業務があります。米軍環境調査業務も継続されました。広報発行・ホームページの更新を早急に実現するよう強い要望がありました。行事はクリーン作戦(5月実施済)と一斉調査・仏沼の展示を計画しています。



事務局

缶バッチのかわいい野鳥キャラクターは三沢出身で千葉市在住のプロデザイナー中居絵さん(会員)のデザインです。ご好意により無償で提供させていただきました。心より感謝します。今後もいろんな場面で登場させ活用します。何がでるか楽しみに。



- No.26(前号)から1年が過ぎた事を反省しお詫び致します。
- 年報配布が遅れています。正会員には配布の予定です。それ以外に必要な方は事務局へご連絡、相談願います。
- H27年度NPO会費振替用紙送付が遅れています。
- 八戸自然保護官が高橋瑛子さんから知識寛之さんになりました。
- 記念グッズ(缶バッチ)の制作をしました。(クリーン作戦参加・ラムサール10周年記念)
- ホームページの更新等、ご意見・協力者を求めています。